

各位

病害虫防除所長

病害虫発生予察技術情報第11号(果樹カメムシ類)について

本年の果樹カメムシ類のフェロモントラップへの誘殺数は平年より少なく推移していましたが(第1～4図)、9月以降、新成虫の誘殺数は増加傾向にあり、中央部では平年より多くなっています(第2図)。

また、今春のスギ・ヒノキ花粉飛散量は平年の1.8倍と多く、果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ等)の現在の主な餌であるスギ、ヒノキの毬果量も多くなっています。したがって、果樹カメムシ類の山林等での発生密度は高いものと推測され、特に幡多地区等では台風14号の通過後、外灯への飛来が目立っています。

今後、気温の低下や台風の襲来、餌として利用可能な毬果の減少に伴い、樹園地への飛来が活発となり、カンキツ、カキ、ナシ等の果実での被害が発生する恐れがありますので、果樹園での発生に注意してください。

